

NGO Non-profit type General Foundation Corporation



IKUEI

日本の貧困を寄付で子供を救う

食事と勉強の機会が十分でない子ども達
がいます

孤独、貧困、不登校...

温かいご支援をお願いいたします

目的

- 常設子ども食堂開設
- 児童養護施設の子どもたちの大学支援事業
- 無料大学の開設・開校・運営

今回の寄付依頼目的

児童養護施設の中高校生へのノートパソコン配布
パソコン教室の実施

日本の貧困状況

- 児童貧困、片親貧困、数字では260万人が貧困、貧困はDVになる恐れがあります
- ひとり親の世帯では「2人に1人」貧困な子どもたち
- 「7人に1人」居場所と勉強する機会を失った子どもたち
- 親の共働きにより、子供が家で1人で食べる「孤食」になっている

居場所と勉強の機会を失った子どもたち

- 勉強をしたいのにできない...
- 家にも学校にも何処にも居場所がない...
- 自分に自信が持てない...
- 生まれ育った環境や境遇によって、誰にも相談できず、苦しい思いをしている子どもたち、この日本にもいることをご存知ですか？

日本の子どもたちが抱える困難

※貧困だけではない

- 1、日本の中学生の17人に1人、高校生の24人に1人が「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたち家族の世話や介護を担い、子どもらしい生活を送れていません
- 2、2020年度に「不登校」とみなされた小中学生は、前年度より8.2%増の19万6,127人で過去最多

日本の子どもたちが抱える困難

- 3、年間30日以上学校に行けていない長期欠席者も含めると28万7,747人にも上ります
- 4、日本の子ども・若者の18人に1人が、家や学校などの「どこにも居場所がない」と孤独感を抱いています

居場所づくりと学習支援

- 居場所づくりや学習支援
「勉強する機会を失った子どもたちをサポート」
- 本音を話せる居場所作り
「安心して過ごせる場所をつくりたい」
- 食事を提供する(朝、昼、夜、常設)
「一緒に食卓を囲むことで、子どもたちが心身ともに満たされる居場所」

養護施設では

- 児童貧困、片親貧困、数字では260万人が貧困、貧困はDVになる恐れがあります
- ひとつの養護施設で一時預かりは平均3人/日、ひどい場合は児童相談所の引き取りで親から離します
- ご飯食べられないけど親と一緒に親と離れてごはんは食べられる養護施設どちらが子供は幸せでしょうか？

孤児院の子どもたち

1、日本の約50,000人の児童養護施設の子供達、本当の孤児は3%です

のこりの97%は親に捨てられた子供達です

2、養護施設の子供達の未来を選択する金も機会も無いです

3、貧困、空腹、教育、進学、未来の希望、未来の日本この解決が、大きく日本を変えて行くと思っています

特定妊娠者とは

簡単に言えば不妊処理をしないで妊娠してしまい、下すタイミングを失った女性、若さ故の過ちから、出産後育児放棄します。

名前は自治体で付けるそうです
その人数が約10,000人強です

私たちが行うこと

- ・ 無料大学医療系の資格取得が取れる大学をM&A運営。企業寄付によるドイツ型の教育理念です。自国の子供達は、企業の中で教育して社会に送り出す事が、未来型社会貢献では無いでしょうか？
- ・ 常設子ども食堂と学習支援（寺子屋、塾）の運営（朝、昼、夜で365日の運営）

寄付で子どもたちを助けてください！

- 一人でも多くの子ども達に、チャンスを与えていきたい。

そのためのネックは、資金です。

- 寄付金額

一口100万円～

何口でも可能です。

寄付の控除

1、寄付の税控除(個人)

寄附金控除の金額の計算は次のとおりです。

次の(1)または(2)のいずれか低い金額 - 2000円 = 寄附金控除額

- (1) その年に支出した特定寄附金の額の合計額
- (2) その年の総所得金額等の40パーセント相当額

2、寄付の控除(法人)

寄附金は一定の限度額までが損金に算入できます。

法人が支出した寄附金については、一定の範囲内で損金に算入されます。

計算式

$$[\text{資本金等の額} \times 12\text{分の当期の月数} \times 1000\text{分の}2.5 + \text{所得の金額} \times 100\text{分の}2.5] \times 4\text{分の}1 = [\text{損金算入限度額}]$$

寄付受託した弊社

NGO非営利型一般財団法人 育叡(いくえい)

住所：埼玉県越谷市です。

E-Mail : y1kebukawa@ikuei-ngo.org
y1kebukawa@gmail.com

皆様からお預かりした寄付金は、居場所と勉強する機会を失った子どもたちの為に全額活用されます。

私たちは、日本全国に当該施設を設置することを指向し、世界の中でも立ち遅れている日本の子供の貧困を当該プロジェクトで皆様と共に救いたいと考えております。

弊社も頂いた寄付金は全て非課税で活用し、居場所や勉強の機会を失った子供たちを救いたいと思っております。

受託金融機関

みずほ銀行

銀座通支店

決済口座 2314134

(普通口座です。銀行内では決済口座扱いです)

三菱UFJ銀行

銀座通支店

決済口座 1385586

三井住友銀行

東京営業部

決済口座 3496788

ソニー銀行

本店営業部

普通口座 6014640

上記口座名義人

ケブカワ ユウイチ

受託金融機関

川口信用金庫

蒲生支店

普通口座 1143965

名義：一般財団法人育叡(イクエイ)

代表理事 毛部川 裕一

ザイ)イクエイ

今回ご協力企業様のご紹介

貧困児童や片親貧困児童に対して、今回は、ノートパソコンをデル・テクノロジー株式会社のご協力を得て贈呈します。

当財団の意志にご賛同いただくデル・テクノロジー株式会社は、私共の自国の子供達に対して、企業の力を得て教育指導を施して社会に送り出す事が、未来型社会貢献の繋がることに通じるものがあり、ご賛同・ご協力いただきました。

デル・テクノロジー株式会社のストーリーは、世界中の誰もが、どこにいても最高のテクノロジーを簡単に利用できるようにすべきであるという信念と情熱から始まりました。1984年、マイケル・デルがテキサス大学の寮の部屋にいたころのことです。

現在は世界各地でデジタル環境を変革することに尽力しています。

世界トップクラスのテクノロジー企業の1つとして、卓越した機能を通じて人々の生活に変革をもたらすことに取り組んでいます。ハイブリッドクラウドソリューションやハイパフォーマンスコンピューティングから、ソーシャルインパクトとサステナビリティに関する意欲的な取り組みまで行う、デル・テクノロジー株式会社に深く感謝します。